

## 東北から世界へ！

# 世界の多様な防災意識・コミュニティ防災を学び合う

### —次世代を交えて—

JICA 東北の防災プロジェクト実施団体（根浜 MIND+岩手県立大槌高等学校×東北大学×JOCA 東北）のコラボレーションにより、3月9日（土）に開催される「仙台防災未来フォーラム 2024」に参加し、「復興・次世代への継承」を主なテーマとして、高校生とプロジェクト専門家が共に、防災・復興への思いを語り合います。

毎年実施される「仙台防災未来フォーラム 2024」の今年度のテーマは、「仙台枠組振り返り/みんなで今できる防災」。東日本大震災からの復旧・復興に加えて、気候変動をはじめとした環境問題や水害など様々なテーマから広い意味での「防災」について知る・考えるプログラムが実施されます。

【発表日時】2024年3月9日（土）14：45-16：15

#### 【登壇者】

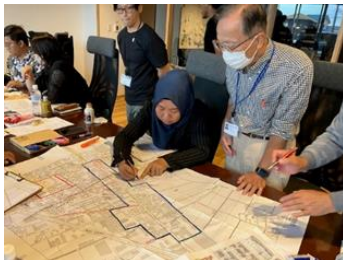
- ・泉貴子氏／国立大学法人東北大学 災害科学国際研究所
- ・星英次氏／JOCA 東北（公益社団法人 青年海外協力協会 東北支部）
- ・細江絵梨氏・常陸奈緒子氏／一般社団法人 根浜 MIND
- ・岩手県立大槌高等学校復興研究会

【仙台未来防災フォーラム 2024 関連ホームページ】

- 発表プログラム：[https://sendai-resilience.jp/mirai-forum2024/presentation\\_list.html](https://sendai-resilience.jp/mirai-forum2024/presentation_list.html)
- 全体概要：<https://sendai-resilience.jp/mirai-forum2024/>



<根浜 MIND/現地大学教授による講義>



<JOCA 東北/現地 CP と岩沼市民との協働>



<東北大/マレーシアでの避難訓練演習の様子>



<大槌高校/現地中学生への防災教育>

本件に関して、取材をご希望の場合は、  
JICA 東北までお問い合わせいただければ  
幸いです。

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課 担当：高橋・秦

TEL:022-223-4772 FAX:022-227-3090 e-mail: thicjpp@jica.go.jp

【各団体事業／活動概要】

●東北大学災害科学国際研究所／対象国・地域:マレーシア・スランゴール州

事業名:地域コミュニティの安心と安全向上のための災害リスク理解に基づく防災力強化プロジェクト

現地カウンターパート:スランゴール州防災課 (DMU)、市民防衛局 (MCDF)

協力内容: ①災害データの収集、整理、分析をした上での、災害リスク理解と軽減のための提言書作成、地域コミュニティへのワークショップ開催 ②防災意識啓発プログラムのための防災関連部局やコミュニティリーダーへのトレーニング実施、防災関連部局とコミュニティリーダーによる地域住民に対する防災意識啓発プログラム実施支援 ③地域住民主体によるコミュニティ防災モデル活動実施支援

事業概要表: [https://www.jica.go.jp/Resource/partner/kusanone/partner/ku57pq00000x9tkg-att/mal\\_03\\_p.pdf](https://www.jica.go.jp/Resource/partner/kusanone/partner/ku57pq00000x9tkg-att/mal_03_p.pdf)

●JOCA 東北／対象国・地域:インドネシア共和国中部スラウェシ州

事業名:パル市集団移転地におけるより災害に強いコミュニティ形成事業

現地カウンターパート:パル市 BAPPEDA (開発企画局)

協力内容:震災集団移転地でのコミュニティ防災

- ①大規模な災害時は共助のしくみが大切となるので、コミュニティの活性化に繋がる住民自主活動の支援
- ②住民防災リーダーの育成と自主防災組織のしくみづくり

事業概要表: [https://www.jica.go.jp/Resource/partner/kusanone/chiiki/ku57pq00000x9trj-att/ind\\_26\\_c.pdf](https://www.jica.go.jp/Resource/partner/kusanone/chiiki/ku57pq00000x9trj-att/ind_26_c.pdf)

●根浜 MIND／対象国・地域:インドネシア共和国・バンダ・アチェ市

事業名:バンダ・アチェ市における地域住民参加型津波防災活動の導入プロジェクト

現地カウンターパート:アチェ津波博物館

協力内容:①日本・釜石の防災および復興まちづくりノウハウのシェア

- ②多様な関係者とワークショップを通して防災プログラム作りと試行
- ③プログラム作りの内容や過程を明記したハンドブック作成

事業概要表: [https://www.jica.go.jp/Resource/partner/kusanone/chiiki/ku57pq00000x9trj-att/ind\\_25\\_c.pdf](https://www.jica.go.jp/Resource/partner/kusanone/chiiki/ku57pq00000x9trj-att/ind_25_c.pdf)

●岩手県立大槌高等学校復興研究会

東日本大震災からの復興が進む過程で、大槌高校の生徒もまちづくりに参画してきました。まちの区画整理に関するアイデアや、新たなまちづくりの方針に関する提言など、復興のまちづくりを担う一員として、高校生の視点から復興への貢献を継続。震災直後から続く生徒たちの取り組みが、現在の復興研究会へつながりました。

また、根浜 MIND によるバンダ・アチェ市との事業内で (上記参照) 12 月に実施された現地業務において、同復興研究会に所属する生徒 4 名と顧問教諭 1 名が防災プログラム実践の専門家として派遣され、モデル中学校 2 校での防災授業を実施。授業では、津波の発生メカニズムの説明やクイズ形式の防災知識の学習の他、大槌高校復興研究会の活動紹介や、津波常襲地域に暮らす同世代の若者として、津波防災に取り組む意義や必要性についても伝える機会となりました。

大槌高校復興研究会紹介: <https://www2.iwate-ed.jp/oh-t-h/reconstruction.html>